



年頭にあたって

会長 中川可能作

会員の皆様、あけましておめでとうございます。皆様のご協力での活動も順調に推移していると思います。

今年も例会などで会員講話を中心に互いに切磋琢磨し目標会員50名をめざしましょう。金沢龍馬会の皆様方の益々のご清栄と更なるご活躍をご祈念申し上げます。



《第27回全国龍馬ファンの集い報告》

日時：11月14日(土) 15日(日)

会場：「高知市文化プラザかるぼーと」

高知市九反田

11月14日に行われた「第27回全国龍馬ファンの集い」に参加してきました。私にとっては初の高知大会です。

金沢龍馬会会員の参加者は吉田事務局長、朝日さん福井さんご夫妻、私と昨年と同じ顔触れです。

当日は生憎の雨模様でしたが、全国、さらには海外から300人以上の方が集まり盛大な大会となりました。

12時に“龍馬伝”の音楽を担当した「いちむじん」のミニライブで開幕。

その後主催者、来賓の挨拶があり、2日に亡くなられた坂本龍馬記念館、森館長に皆で黙とうを捧げました。

講演や種々のセレモニーが続き、15時過ぎに終了となりました。

次はバスで桂浜に移動しての懇親会です。到着後、17時の開始時間まで散策の予定でしたが、



嫌な予感がして、早めに会場に戻りました。

案の定、宴会は既に始まっていました。昨年の経験が生きました(笑)。高知らしい、豪快で楽しい懇親会でした。

来年の28回大会は10月8日福岡です。多くの方が参加出来ますよう！楽しみです！ 「報告：周藤英将さん」

4月 【花見会のお知らせ】

恒例の金沢龍馬会花見会のお誘いです。

日時：4月9日(土) 15:00~18:00

場所：片町「鯛組」

(<http://iwashigumi.com/>)

親睦会：参加費：3,000円

参加申し込み：金沢龍馬会吉田信夫事務局長 迄

吉田信夫携帯：080-5600-1113

メール：jitianxinfu@hotmail.com

【会員のつぶやき】

“龍馬と拳銃”

寺元淳二



私が長年不思議に思っていたのは、龍馬と拳銃の事だ。

龍馬が拳銃を使った話は、ドラマの世界の作り話であって、龍馬と拳銃の関わりは創作だろう。そういえば、鞍馬天狗も拳銃を持っていたし・・・位に考えていました。

先年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」の頃、書店で見つけた龍馬の妻お龍の自叙伝を読み、それが現実だったことがよく分かり且つ身内の人間から見た龍馬の素顔が垣間見えた様に思いました。

縁あってこの龍馬会に入会を許されたものの果たして自分にその資格があるのかと自問もしてきました。

所が、会報第一号で、龍馬の志を偲びつつ、現実の互いを切磋琢磨し、楽しみながら人間を磨こうとの会長のご提案を読み、会に於ける自分の身の置き場を若干見つけた次第です。

先達諸氏との楽しい語らいの中で、自身の前進を願っています。

まるわかり「龍馬入門講座」⑥

⑩先にも、述べましたが、勝海舟の失脚とともに神戸にいた龍馬らは、勝の計らいで西郷に預けられ、薩摩藩の大阪藩邸に保護されます。

1865年4月に薩摩藩船で大阪を出港し、5月に鹿児島へ、その後まもなく同志が長崎に集まり

薩摩藩や長崎の豪商：小曾根家（越前藩ご用達）の援助を得て日本初の商社「亀山社中」が誕生しました。



社中は廃業した亀山焼の関連施設を借り受け、航海術訓練や軍艦取引などの業務に取り組んだとされます。

その跡地が2009年8月に「亀山社中記念館」としてオープンしました。

当時は、ただ「社中」と呼ばれるのちの岩崎弥太郎は日記の中で龍馬の変名「才谷梅太郎」にちなんで「才谷社中」と呼んでいます。

亀山社中と言うネーミングは実は昭和になってからです。龍馬は1866年、薩長同盟を成立へと導きました。その陰に「社中」がありました。

幕府や朝廷からいらまれていた長州藩のために薩摩藩名義で武器や軍艦を購入する一方で薩摩藩に長州藩から米を搬送し両藩を接近させました。

社中の給料は薩摩藩から全員平等に月に三両二分（現在のお金で約15～6万円とされる）が小松帯刀から支給されていたそうです。ちなみに小松篤姫、龍馬は同じ年の生まれです。

「続く」（記：吉田信夫）

《盛会だった北陸三県交流会報告》

日時：9月27日（土）午後3：00～

会場：兼見御亭

秋晴れ、龍馬会北陸三県交流会が開催されました。

越前6名、富山10名、信州上田2名、計47名の皆様の参集でした。山野市長には多忙のところ、ご挨拶をいただきました。

14:45 越前、富山の方をご案内し、金沢城跡で新幹線開業に合わせて復元された橋爪門、玉泉院丸庭園をガイドしました。

16:00 麻井さんの箏演奏が行われ、この日の為に、作詞・作曲したオリジナル曲が披露されました

（脚本・演出 松岡、伴吟 小屋）。龍馬の想いがよく伝わり好評でした。中川会長の挨拶に引き続き、三吉慎蔵のひ孫に当られる三吉治敬氏の講演「三吉慎蔵と幕末上田藩士」が行われました。同時に三吉氏が持参された史料が披露されました。

山野市長のご挨拶、写真撮影に引き続き、親睦会が行われ、全国龍馬社中牧田副会長の挨拶のあと乾杯、しばしの歓談後、各参加の龍馬会代表者の挨拶と各参加者から簡単な発言がありました。更に歓談が続き、各場所で暑い議論が続きました。

19:00 中締めのもと、有志は場所を「お龍」に移し更に熱気のこもった議論とカラオケに興じました。全体としては順調に執り行われ、各龍馬会から、金沢龍馬会には偉才が多い、楽しかったとの評価をいただきました。関係者の皆様本当にありがとうございました。

【新入会員紹介】

93 中浦政克さん 94 折戸登さん

【編集後記】皆さま、今年もよろしくお願ひします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。これからもご指導ご鞭撻をいただきながら楽しい会報作りを目指したいと思っています。（記：中田俊郎）

***** 事務局 *****

金沢龍馬会

会 長：中川可能作

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

